

第4章 具体的な施策の展開

1. 生涯学習機会を提供する

(1) 多様化する市民の学習要求に応じた学習機会の提供

- ◇乳幼児期から青少年期、壮年期、高齢期などの年代に適した内容の学びができるよう、学習機会の充実と工夫を図ります。
- ◇子育て世代、就労世代などの世代に応じた内容の学びができるよう、学習機会の充実と工夫を図ります。
- ◇文化芸術、スポーツ、伝統文化、健康、人権など幅広い分野の内容の学習機会を提供します。

【具体的な施策】

- ・各種講座・ワークショップの開催
- ・市内の子どもを対象としたMIDORIジュニアアカデミー事業の実施
- ・スポーツ・レクリエーション活動の実施
- ・ボッチャや輪投げ・スカイクロスなど軽スポーツ用具の貸出
- ・公民館による「市民講座」「高齢者教室」「青少年学級」等の開催
- ・図書館による多種多様な資料購入、読書啓発事業、障がい者配本サービスの実施
- ・博物館による郷土・歴史に関する講座の開催

(2) 社会の変化に対応した学習機会の提供

- ◇情報化、国際化などの現代的課題¹⁰に対応できるよう、学習機会の充実と工夫を図ります。
- ◇地域防災・安全、後継者育成、地域教育力の向上などの今後を見据えた課題に対応できるよう、学習機会を拡充します。
- ◇新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、行動等の制限を強いられる状況下でも活動できる学習の機会を創出します。

【具体的な施策】

- ・各種講座・ワークショップのリモートによる開催
- ・新たに6つの社会教育施設に導入したWi-Fi環境の有効活用
- ・県や近隣市と連携して、防災、防犯、男女共同参画などの学習機会の提供
- ・パソコンやタブレット等の基本操作やプログラミング教育など、ICTに関する学習機会の充実

¹⁰ 現代的課題：科学技術の高度化、情報化、国際化、高齢化の進展などの社会の急激な変化に対応するため、人々が社会生活を営む上で、理解し、体得しておくことが望まれる課題をいう。具体例として、健康、少子・高齢社会、男女共同参画社会、防災、環境、交通、過疎、まちづくり、国際理解などがあり、その領域は広範囲にわたっている。

- ・「みどり市どこでも出前講座」の開催
- ・視聴覚機材の貸出
- ・「公民館大会」の開催
- ・電子図書の貸し出し

(3) 学習情報の提供と学習相談の充実

- ◇様々な年代に生涯学習に関する講座や教室等の情報が届くよう、広く生涯学習に関する情報を発信します。
- ◇各社会教育機関において、館報などを発行し、様々な情報提供に努めます。
- ◇これから生涯学習を始める人へのサポートや市民の学習相談、地域課題の解決支援等に対応できるように、各教育機関や文化施設で学習相談にあたる職員の資質・能力の向上に努めます。
- ◇学習情報の収集や市民の学習活動の実態及びニーズの把握に努めます。
- ◇各施設における市内のサークル・団体情報を一元化し、市民の学習相談に活用するとともに利便性の向上を図ります。
- ◇自主的な学習グループ・サークルの活動を支援するため、公民館をはじめとする市内の文化・スポーツ施設で、学習支援者に関する情報提供、学習場所の確保、教材や学習方法に関する助言などを積極的に行います。

【具体的な施策】

- ・公民館報の発行
- ・みどり市広報紙及びホームページ、LINE等による情報発信
- ・両毛広域生涯学習ネットワーク推進協議会¹¹において生涯学習情報紙「両毛ねっと」発行
- ・社会教育施設利用団体情報の共有化
- ・社会教育関係職員の研修参加



¹¹ 両毛広域生涯学習ネットワーク推進協議会:足利市、佐野市、桐生市、太田市、館林市、みどり市の6市で構成され、両毛広域という日常生活圏内での生涯学習ネットワークの構築に向けて結成された組織。

2. 生涯学習の拡充を図る

(1) 仲間づくりの支援

- ◇地域住民が集いつながることができるよう、交流機会を拡げます。
- ◇市民の生涯学習による学習成果を発表する機会を設け、人と人とのつながりや地域のネットワークなどの輪や仲間づくりが進むように支援します。
- ◇学級・講座などの受講生のグループ化を援助し、地域での自主学習グループ・サークルへの成長を図るとともに、関係諸団体やグループ・サークル相互の交流の機会・場の提供に努めます。
- ◇社会教育関係団体や各行政分野関係団体などの活性化を図るため、情報提供、相談など適切な指導・助言に努めます。

【具体的な施策】

- ・利用者の交流機会となるように、公民館による「公民館大掃除」「利用者懇談会」の実施
- ・地域文化祭の開催
- ・参加体験型プログラムなど、双方向による学習プログラムの実施
- ・高齢者を対象とした講座の実施
- ・未就学児の親子同士が交流する学習機会の提供

(2) 学校・家庭・地域との連携と充実

- ◇家庭教育を支援します。
- ◇青少年健全育成活動を推進します。
- ◇子どもたちの健全育成と地域教育力向上につながる体制づくりを充実します。
- ◇学校を核とした地域づくりを推進します。
- ◇社会教育施設だけでなく、学校教育施設の開放を続け、学校と地域の連携を図ります。
- ◇生涯学習社会の学校の役割について、教職員の理解を深め、それらを教育に生かす実践的指導力の充実を図るため、教職員の研修内容の充実に努めます。
- ◇学校図書館と市立図書館の連携により読書教育の充実を図ります。

【具体的な施策】

- ・公民館による「放課後子ども教室」「こうみんかんdeスタディ」の実施や「地域こどもまつり」「地域文化祭」の開催
- ・図書館による「ブックスタート事業¹²」の実施
- ・幼稚園での預かり保育、子育て相談の実施

¹² **ブックスタート事業**: 赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報などが入ったブックスタート・バックを手渡し、絵本を介して心触れ合うひとときを持つきっかけをつくる運動。1992年にイギリス・バーミンガムで取組が始まった。日本では平成13年から市区町村自治体の事業として行われている。

- ・教育研究所による教育相談の実施
- ・社会教育課による「みどり市どこでも出前講座」の実施
- ・家庭教育関連講座、ワークショップ研修の開催
- ・地域での子どもの居場所づくりなどの推進
- ・児童生徒の地域行事やボランティア活動への参加
- ・青少年健全育成活動、PTA活動、子ども会育成会活動の推進
- ・学校教職員、社会教育職員の研修参加

(3) 学習成果を活用する機会の充実

- ◇学習の成果を適切に活かすことができるよう支援します。
- ◇発表の場を充実します。
- ◇学習の成果を生かせる場をつくります。
- ◇学習支援者の活動の場を広げるために積極的な情報提供に努めるとともに、関係機関や事業での人材活用の方法を検討し、その推進を図ります。
- ◇学習支援者の発掘・養成のため、各種指導者養成講座を開催し、その養成に努めます。

【具体的な施策】

- ・公民館による「地域文化祭」や芸能発表会の開催
- ・公民館において市出身者によるロビーコンサートの開催
- ・図書館において、ボランティアサークルによる読み聞かせの実施
- ・社会教育課主催事業内において、生涯学習活動団体が発表する機会を設ける
- ・少年の主張みどり市大会を開催し、子どもたちの思いや学びを披露する機会を設ける
- ・子どもたちの音楽活動成果を披露する子ども音楽活動発表会の開催
- ・市内小学生を対象に、みどり市出身の選手や経験者を講師として迎え「ナイター陸上」を実施
- ・草木湖マラソン大会の開催



3. 生涯学習を支える体制を整備する

(1) 生涯学習関係活動団体への援助

- ◇公民館などの公共施設で、学習グループ・サークルが自主性、自発性を発揮して活動することができるよう支援します。
- ◇個人学習者からの求めに応じ、集会学習や集団学習の情報を提供し、また、学習グループづくりなどへの支援を行います。
- ◇地区住民の交流や地域づくりが推進されるよう、生涯学習活動への支援を行います。

【具体的な施策】

- ・地区単位で行われる社会教育・生涯学習活動に対する補助事業
- ・文化活動・育成会活動等の団体活動への補助事業
- ・群馬交響楽団への補助事業

(2) 社会教育施設の整備

- ◇生涯学習推進の基幹となる社会教育施設、文化・スポーツ施設及び福祉施設などの一層の整備に努め、身近な学習環境づくりを図ります。
- ◇市民の多様なニーズに応え、自主的・主体的な学習活動を支援するため、運営審議会や協議会など各附属機関の意見や施設利用者の要望などを積極的に取り入れます。
- ◇公民館や図書館、博物館などの社会教育機関については、それぞれの施設間のネットワーク化を進め、情報交換や連絡調整を行うとともに、施設運営や事業実施などのあるべき姿について研究を行い、その充実に努めます。
- ◇各施設が特色ある施設運営や事業展開を行い、市民の自主的・主体的な学習・文化活動を支援できるよう計画的な職員養成に努めます。
- ◇学校が地域の教育資源を積極的に取り入れるなど相互活用を図ります。

【具体的な施策】

- ・公民館運営審議会等を開催し、市民ニーズの把握
- ・学校教育施設の一部開放
- ・社会教育関係職員の研修参加

